

## 第 54 回担当理事会議要録

日 時 2014 年 3 月 30 日（日） 10：00～16：30  
場 所 一般財団法人 ゆうちよ財団会議室  
〒101-0061 東京都千代田区三崎町 3-7-4

出席者	会 長	藤野 次雄
	副会長	朝日 讓治
		内田 滋
	総務担当理事	伊藤 志のぶ
	同	江尻 行男
	同	菅原 浩信
	同	松本 直樹
	同	宮村 健一郎
	同	森保 洋
	同	矢野 順治
	財務担当理事	東 珠美
		松塚 ゆかり
	渉外担当理事	上村 協子
		富樫 光隆
事務局	芹沢 佐知子	

(14 名)

### 【審議事項】

- (第 1 号議案) 各種委員会委員の交代（委嘱）について
- (第 2 号議案) 2013 年度事業報告及び同収支決算見込みについて
- (第 3 号議案) 2014 年度事業計画及び予算について
- (第 4 号議案) 2014 年度第 30 回（長崎大学）全国研究大会について
- (第 5 号議案) 2015 年度第 31 回全国研究大会開催校について
- (第 6 号議案) 生活経済学会賞等の選考結果について
- (第 7 号議案) 名誉会員の推薦について
- (第 8 号議案) 新入会員の申込みの審査について
- (第 9 号議案) 第 16 期理事選挙について
- (第 10 号議案) 学会費未納者の対応について
- (第 11 号議案) 連絡先不明会員の対応について
- (第 12 号議案) 生活経済学会活性化委員会の各施策等について
- (第 13 号議案) その他

## 【報告事項】

- 1 退会の承認について
- 2 『会員名簿』（改訂版）の発行について
- 3 日本経済学会連合「平成 26 年度第 1 次学会会合費補助申請」について
- 4 第 5 回（平成 26 年度）日本学術振興会育志賞受賞候補者の推薦について
- 5 生活経済学会事務局事務委託の契約更新について
- 6 著作権ポリシーについて
- 7 賛助会員について

## 【審議事項】

審議の前に、議事録担当が中部部会であり伊藤担当理事が作成することを確認した。

### （第 1 号議案） 各種委員会委員の交代（委嘱）

各種委員会の交代について提案がありすべて承認された。一部の委員について任期及び本人の意思を確認することが付議された。

### （第 2 号議案） 2013 年度事業報告及び同収支決算見込みについて

議案書、及び「2013 年度事業報告及び収支決算見込み」について説明がなされ、承認された。収支決算の会費未納問題は第 10 号議案に廻された。

### （第 3 号議案） 2014 年度事業計画及び予算について

議案書、及び「2014 年度予算」について説明がなされ、承認された。2014 年度事業計画は次の通りである；

#### 1. 研究大会の開催

開催日 2014 年 6 月 21 日（土）～22 日（日）  
会 場 長崎大学片端キャンパス  
共通論題シンポジウム 「地域振興と地場産業」  
自由論題分科会

#### 2. 部会の開催

北海道部会	12 月 13 日（土）	北海学園大学
東北部会	未定	未定
関東部会	11 月 29 日（土）	東京経済大学
中部部会	11 月 8 日（土）	名古屋大学
関西部会	5 月 10 日（土）	追手門学院大学
中四国部会	未定	山口大学
九州部会	未定	未定

但し、未定の部会は 5 月末日までに事務局に、「開催日時・場所」を連絡する。

### 3. 『生活経済学研究』の発行

『生活経済学研究』（第40巻）及び（第41巻）を発行する。

### 4. 予算案

「2014年度予算案」に基づき予算が承認された。このうち、会費収入の変動は学生会員から正会員への変更による増分等の説明があり、また、再び会費未納についての問題点が指摘され、（第10号議案）での審議を待つこととした。また、部会開催費についても滞りなく承認された。

#### （第4号議案） 2014年度第30回（長崎大学）全国研究大会について

「生活経済学会第30回研究大会プログラム」について、開催大学である長崎大学の森保担当理事より詳細な説明があり承認された。

#### （第5号議案） 2015年度第31回全国研究大会開催校について

2015年度第31回研究大会は、追手門学院大学で開催されることが、関西部会長の松本担当理事より提案され承認された。開催日は例年どおり「6月最終週の土曜日・日曜日」で調整するとの説明があった。

#### （第6号議案） 生活経済学会賞等の選考結果について

生活経済学会賞等選考委員会 朝日委員長より

##### ① 生活経済学会特別功績賞

- 小村 衆統 氏（広島修道大学教授）
- 千田 純一 氏（中部学院大学教授）
- 根津 永二 氏（名古屋市立大学名誉教授）
- 松岡 明子 氏（共立女子短期大学教授）

の推薦があり、承認された。

② 生活経済学会賞、③生活経済学会推薦図書賞、④生活経済学会奨励賞はいずれも該当がなかった。

#### （第7号議案） 名誉会員の推薦について

名誉会員の推薦がなされ、承認された。

#### （第8号議案） 新入会員の申込みの審査について

学部学生の入会については、積極意見（NPO学会、日本経済学会等の例、今後の学会員の増加の見込み）と消極意見（学会の質的水準の低下の懸念）に分かれ活発な議論が行われ、再検討することとした。

## **(第9号議案) 第16期理事選挙について**

見出しの提案があり承認された。

## **(第10号議案) 学会費未納者の対応について**

今後の対応について議論した結果、2014年度に限り「特別措置」として、3年以上未納者を対象として「一律24,000円」を一括納入することにより、未納分を清算処理することとなった。また、ホームページ上でも今後の対応について会員に周知することとし、2014年度末には「会則に基づき、3年以上会費を滞納した者を担当理事会の議決を得て退会したものとみなし、総会時に今回の特別措置について報告事項とする」こととした。

## **(第11号議案) 連絡先不明会員の対応について**

現在、転居先・所属先不明で連絡のとれない会員が12名存在し、うち10名は学会費を未納している。2名は年会費を「自動引き落とし」としているため、会費は納入しているが連絡先不明であり、学会のサービスを受けていない状態である。この12名の対応について議論した結果、「長期学会費未納者」と共に2014年度末に対応を決定することとした。

## **(第12号議案) 生活経済学会活性化委員会の各施策等について**

(1)～(5)各種委員会、(6)その他の提案があり、審議、修正の後、承認された。

### **(1) 学会賞等選考委員会**

○「項目7:優秀な論文に対する会長賞等の授与」についての具体案

第30回研究大会において、会長賞(正会員・賛助会員/学生会員)を選定し授与する。事前にプログラム委員会が選定(第1次選考)を行い、座長に伝える。座長は論文の評価(第2次選考)を明文化し、当日研究報告会直後に、プログラム委員長、正・副会長と共に合議による審査、決定(最終選考)を行う。

具体的な手続き等詳細については、学会賞等選考委員会において検討し、プログラム委員会に連絡することとした。

当日のタイムスケジュールは、12:30～13:00 審査会議

13:00～13:30 表彰式

○「項目9:共同研究」について

共同研究者を地方部会内の会員を過半数とする共同研究を対象に援助する。詳細は次の通り決定した。

2014年度に限り、対象期間は「10月1日～3月31日」とする(次年度から1年間)。

今年度のスケジュールは;

応募期間           ～ 7月末日

審査決定           8月の担当理事会

研究期間           10月～3月

但し、次回研究大会・部会で研究報告をすることと会計・報告書の提出を義務付ける。  
競争的資金とするために、4件程度の採用枠を想定する。

1部会から複数申請する場合は、部会において優先順位を付すこととする。

部会長はこの内容を、すぐに会員に周知する。

## (2) 編集委員会

○「項目4の②；大学院生に限り部会長や座長が推薦した場合投稿料免除」  
承認された。

○「項目20：学会誌の英文名」

懸案事項として今後も意見聴取、審議を行うこととする。

## (3) 学術交流委員会

「項目17:『生活経済教育』を軸に他学会、中央官庁、地方自治体等との交流を進める」  
具体策は今後の継続審議とする

## (4) ホームページ委員会

○「項目19：英語版HPの作成」

HPの英語版についての説明があり、後程、事務局から添付ファイルで原案が送付され、  
専門用語等について検討を行うこととなった。

○「項目5：部会の研究内容を学会HPに掲載する」ことになっていたが、部会の研究要旨  
の提出がなかったため、来年度は提出(プログラム・報告用紙(部会研究報告応募用紙の報  
告内容要旨で代替)・報告論文ないしPPT)するよう指示があった。

## (5) 企画委員会

○生活経済学会企画委員会設置規定の修正(第2条2項)と承認を行った。企画委員会の  
活動として『生活経済学』シリーズ、叢書の刊行などが提案され継続審議となった。

## (6) その他

○各部会の部会運営委員会が、今後修正の可能性があることが説明された後承認された。

○生活経済学会会則の改定案を審議、修正し、今次の理事会、総会で諮ることとした。

○著作権取扱規程案の説明があり、今後ホームページ委員会、編集委員会で成案をまとめ  
ることとした。

○賛助会員の会費を一口10万円から2万円に引き下げたことについての趣旨と課題、今後  
の展開について説明があった。

## 【報告事項】

会長と事務局より、次の各項についての説明と報告がなされた。

- 1 退会の承認について
- 2 『会員名簿』（改訂版）の発行について
- 3 日本経済学会連合「平成 26 年度第 1 次学会会合費補助申請」について
- 4 第 5 回（平成 26 年度）日本学術振興会育志賞受賞候補者の推薦について
- 5 生活経済学会事務局事務委託の契約更新について
- 6 著作権ポリシーについて
- 7 賛助会員について

以上